

# 2026年3月期 第1四半期 決算説明資料

ミナトホールディングス株式会社

2025年 8月 8日

証券コード 6862

1.	2026年3月期 第1四半期 決算ハイライト	3
2.	2026年3月期 第1四半期 連結業績	7
3.	セグメント別 第1四半期業績	14
4.	ミナトグループの成長戦略	24
5.	株主還元	32
6.	Appendix 会社概要とグループ会社の事業内容	37

# 1. 2026年3月期 第1四半期決算ハイライト

---

## グループ各社が担うセグメント領域

## 【デジタルデバイス】



港御（香港）  
有限公司

サンマックス・テクノロジーズ  
組み込み向け電子デバイス事業

港御（香港）有限公司

【デジタル  
エンジニアリング】

MINATO  
ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ



港御（上海）情報  
技術有限公司

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ  
港御（上海）情報技術有限公司  
ROM書き込みサービス事業  
デバイスプログラミング事業  
ディスプレイソリューション事業

エクスプローラ  
エレクトロニクス開発／設計事業  
自社製品／半導体販売事業

## 【ICTプロダクト】



プリンストン  
デジタルデバイス周辺機器事業  
テレワークソリューション事業

## その他



Rivers inc.



日本ジョイントソリューションズ  
リバース  
Webサイト構築・システム開発事業  
セールスプロモーション事業

ブレーン    ダイキサウンド  
メディアプランニング事業    スタジオ事業  
ライブエンターテインメント事業  
トータルコンテンツサービス事業

ミナト・フィナンシャル・パートナーズ  
投資事業

## 持分法適用会社



DediProg Japan  
デバイスプログラミング事業

コタック・エネルギー・パートナーズ  
蓄電池販売事業等

## 2026年3月期 第1四半期決算ハイライト

【デジタルデバイス】 【デジタルエンジニアリング】 【ICTプロダクツ】 の各セグメントがそれぞれ増収となり、前期同期比で増収増益を達成。

売上高

前年同期比

5,193 百万円

+ 10.5 %

各セグメントにおいて前年同期比増収となり、連結売上高が順調に伸長

営業利益

前年同期比

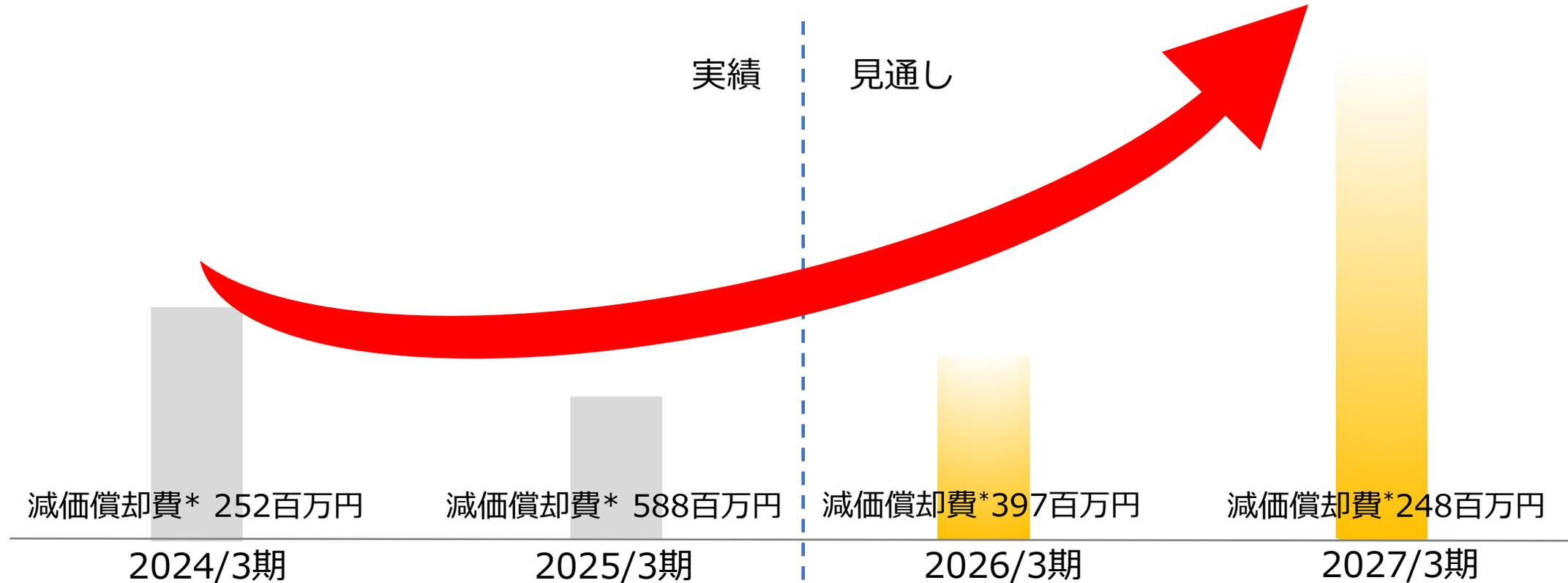
136 百万円

+ 159.1 %

減価償却費の減少や利益率の改善等により、前年同期比で大きく増益

## ROM書込みサービス事業の業績見通し

2025年3月期は顧客の生産減と減価償却費の増加により前期比減益となったが、2026年3月期以降はROM書込み数量増加と減価償却費の逡減により、再び成長軌道へ。



\* ROM書込み事業の建物・設備に係る減価償却費の実績・概算見込み

# 2. 2026年3月期 第1四半期決算連結業績

---

## 2026年3月期 第1四半期 連結業績

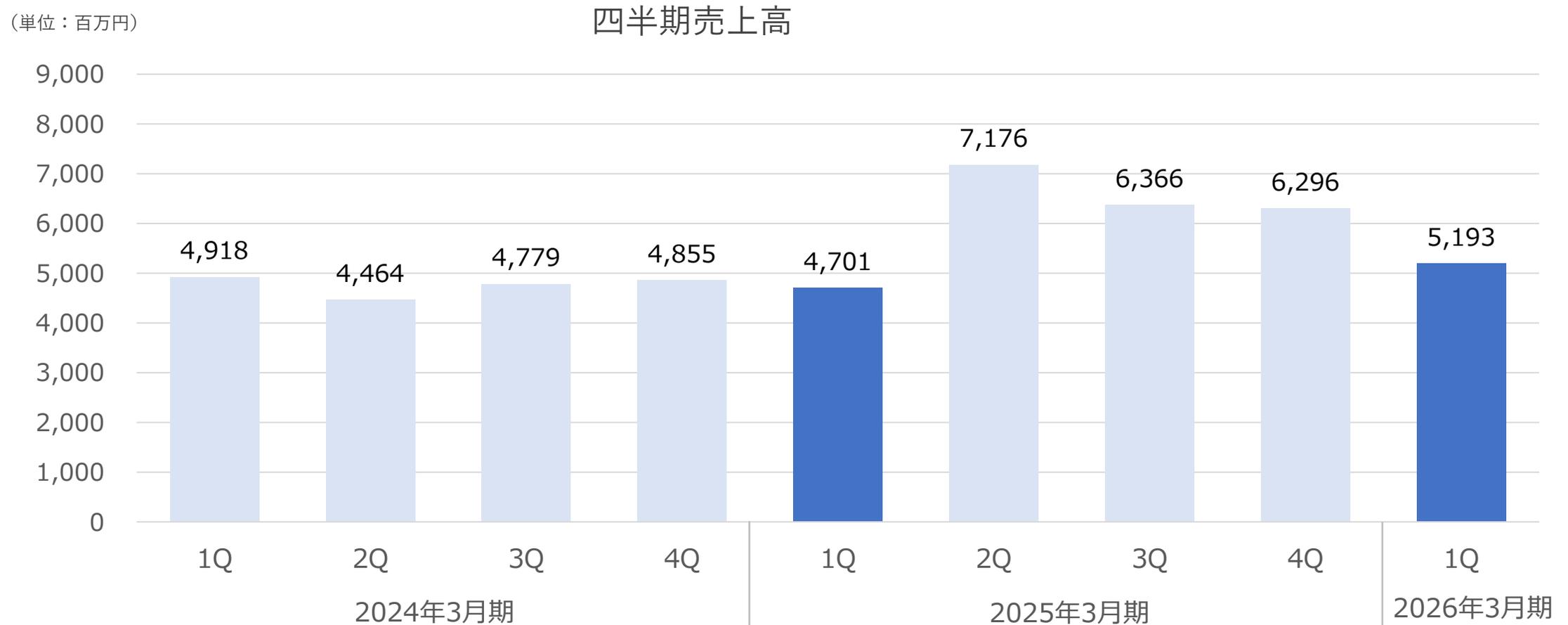
各セグメントにおける増収とともに、減価償却費の減少等により前年同期比で増収増益。年度後半にかけてのROM書込みサービスにおける数量の増加が収益性の向上に寄与する見通し。

(単位：百万円)

	2025年3月期 第1四半期 実績	2026年3月期 第1四半期 実績	増減額	前年同期比
売上高	4,701	5,193	+ 492	+ 10.5%
営業利益	52	136	+ 83	+ 159.1%
経常利益	63	83	+ 20	+ 32.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	37	39	+ 2	+ 7.9%

## 2026年3月期 第1四半期 連結売上高

【デジタルデバイス】 【デジタルエンジニアリング】 【ICTプロダクツ】 の各セグメントがそれぞれ売上拡大し、**前年同期比で連結売上高が増加。**

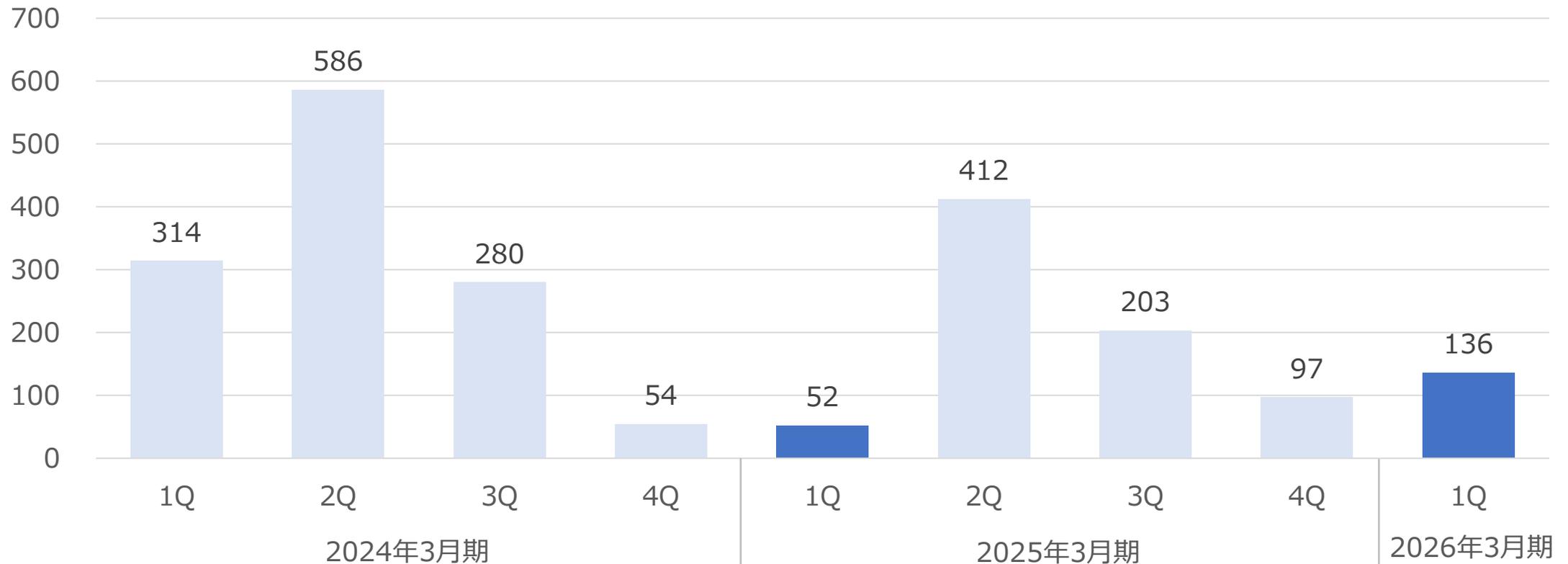


## 2026年3月期 第1四半期 連結営業利益

減価償却費の減少とROM書込み数量の増加等により【デジタルエンジニアリング】が黒字化、【ICTプロダクツ】も増益で連結業績に貢献し、前年同期比で大幅な増益を達成。

(単位：百万円)

## 四半期営業利益

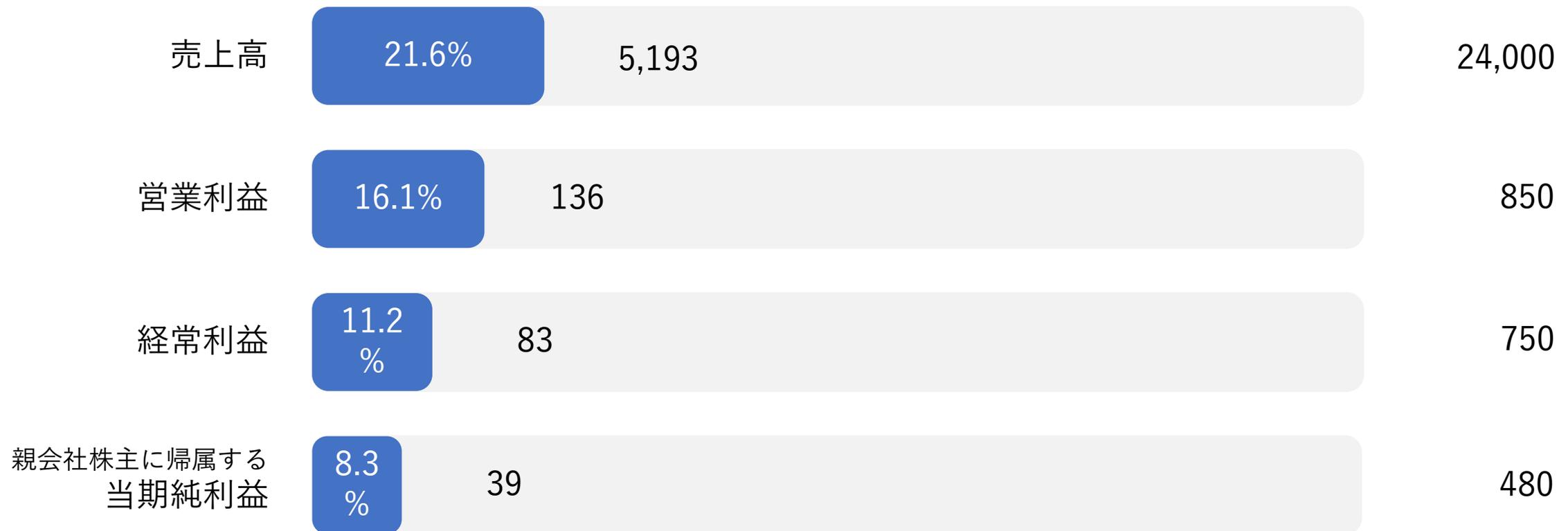


## 2026年3月期業績予想に対する達成状況

通期の連結業績予想に対して「売上高」は順調に推移し、また各利益は前年同期を上回って推移。  
 年度後半にかけて進捗の加速を見込む。

(単位：百万円)

業績予想

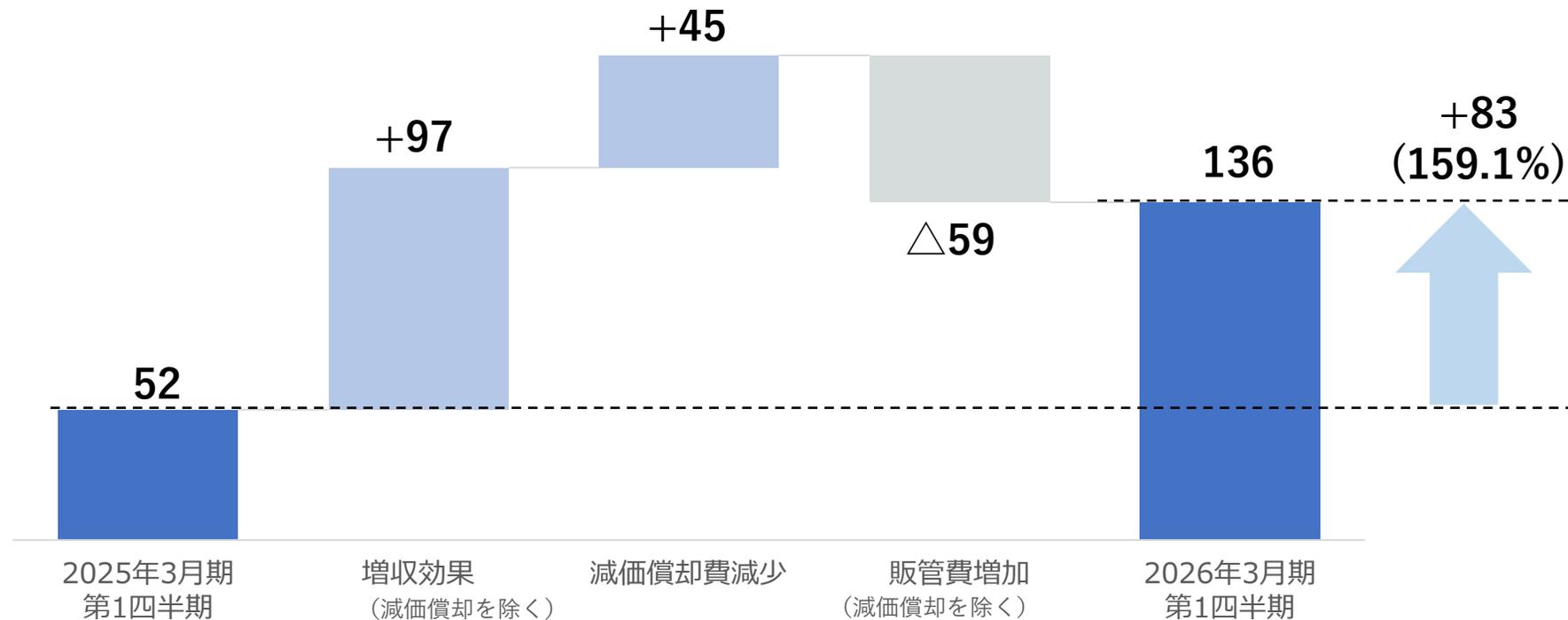


# 連結営業利益の増減分析

【デジタルエンジニアリング】における減価償却費の減少や、各セグメントにおける増収により連結営業利益は増益。

連結営業利益の増減分析

(単位：百万円)



## 2026年3月期 第1四半期連結貸借対照表

ブレーンおよびダイキサウンドを連結範囲に追加したことから総資産が増加。2025年6月末の自己資本比率は31.9%と目標値である30%以上を維持。

(単位：百万円)

		2025年3月末	2025年6月末	増減額	
資産の部	流動資産	12,523	12,567	+44	
	現金及び預金	2,004	2,113	+108	
	電子記録債権及び売掛金	4,190	4,144	△46	
	商品及び製品	3,025	3,450	+425	商品及び製品 サンマックス・テクノロジーズ +379百万円 プリンストン +157百万円
	その他	1,174	628	△545	その他 短期貸付金 ▲495百万円
	固定資産	5,029	5,866	+836	
	有形固定資産	3,024	2,980	△43	
	無形固定資産	180	1,036	+855	無形固定資産 のれん（ブレーン、ダイキサウンド） +862百万円
	投資その他の資産	1,825	1,849	+24	
資産合計	17,553	18,433	+880		
負債の部	流動負債	9,879	10,214	+335	
	支払手形及び買掛金	1,229	1,449	+219	支払手形及び買掛金 サンマックス・テクノロジーズ +240百万円
	短期借入金	6,800	7,100	+300	
	固定負債	1,763	2,334	+570	長期借入金 +555百万円 (ブレーン、ダイキサウンドの連結範囲追加)
	長期借入金	1,599	2,154	+555	
負債合計	11,643	12,548	+905		
純資産の部	株主資本合計	5,852	5,788	△63	株主資本 親会社株主に帰属する四半期純利益 +39百万円 株主配当 ▲103百万円
	自己株式	△337	△337	0	
	純資産合計	5,910	5,885	△24	
負債・純資産合計		17,553	18,433	+880	

※上記貸借対照表の勘定科目は、主要科目と当期トピックスの関連科目

# 3. セグメント別 第1四半期業績

---

## セグメント別 2026年3月期 第1四半期業績

【デジタルデバイス】が引き続き連結業績をけん引するほか、【デジタルエンジニアリング】  
【ICTプロダクツ】とともに増収増益を達成。

(単位：百万円)

セグメント名	2025年3月期 第1四半期実績			2026年3月期 第1四半期実績		
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
【デジタルデバイス】	2,502	361	14.4%	2,787	275	9.9%
【デジタルエンジニアリング】	639	-83	-13.1%	710	39	5.6%
【ICTプロダクツ】	1,560	-16	-1.1%	1,712	57	3.4%
その他	91	-6	-7.6%	124	-5	-4.3%

(※セグメント間の内部売上高または振替高を加えたセグメント売上高を表示しています)

## 【デジタルデバイス】

関連グループ会社：

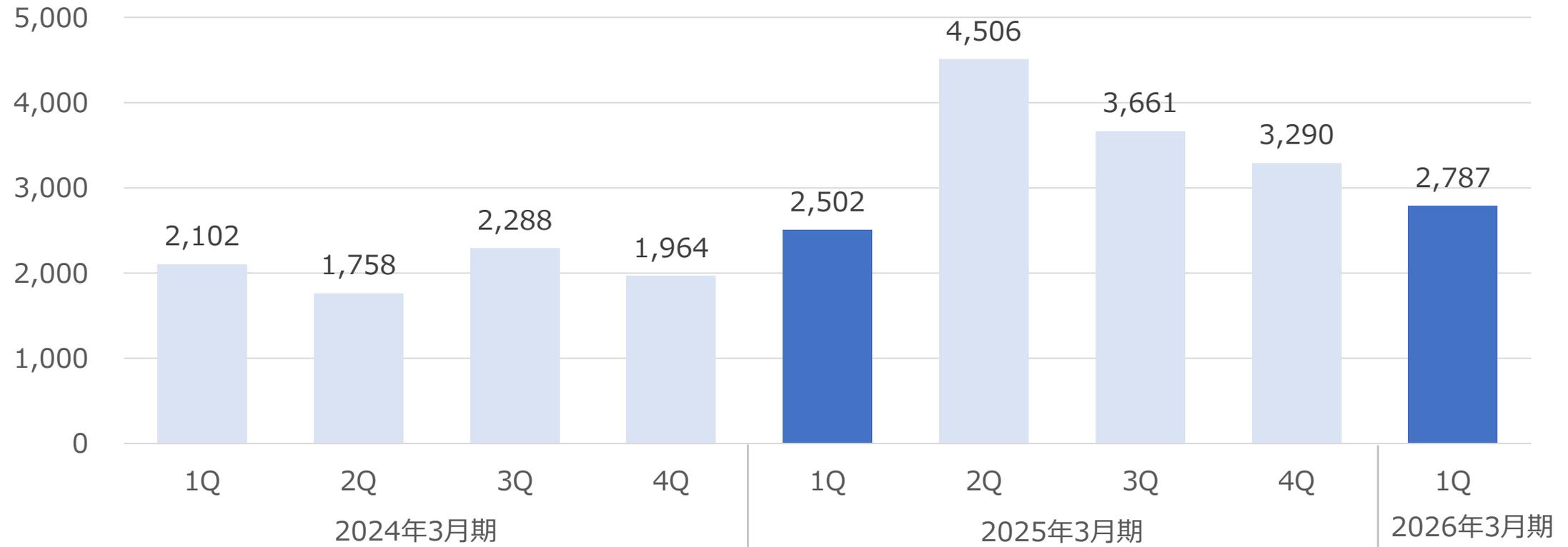


港御（香港）有限公司

サーバー、パソコン、スマートフォン等への需要が本格的に回復しない中、新規案件の獲得が進んだことにより前年同期比増収。

(単位：百万円)

## 四半期売上高



## 【デジタルデバイス】

関連グループ会社：

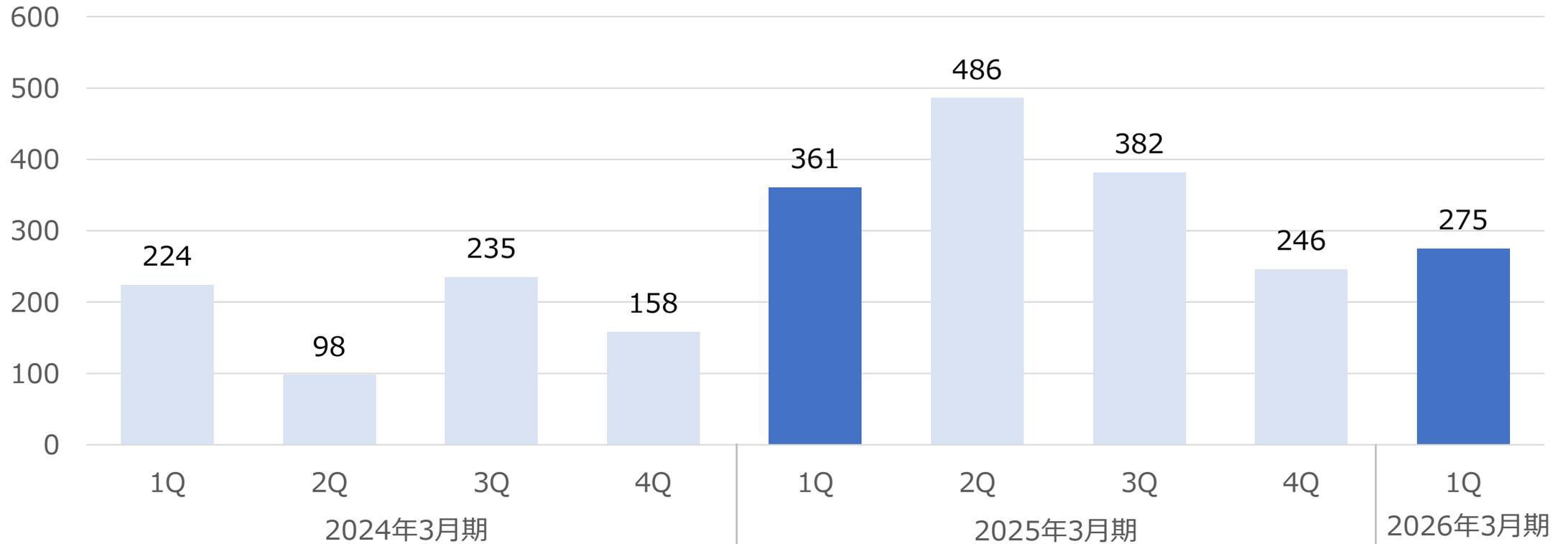


港御（香港）有限公司

前年同期と比べて高採算案件の比率が低下したことから、利益率は前年同期と比べて低下したが、引き続き連結業績をけん引。

(単位：百万円)

## 四半期営業利益



# 【デジタルエンジニアリング】

関連グループ会社： **MINATO**  
ミナト・アドバンスド・テクノロジーズ

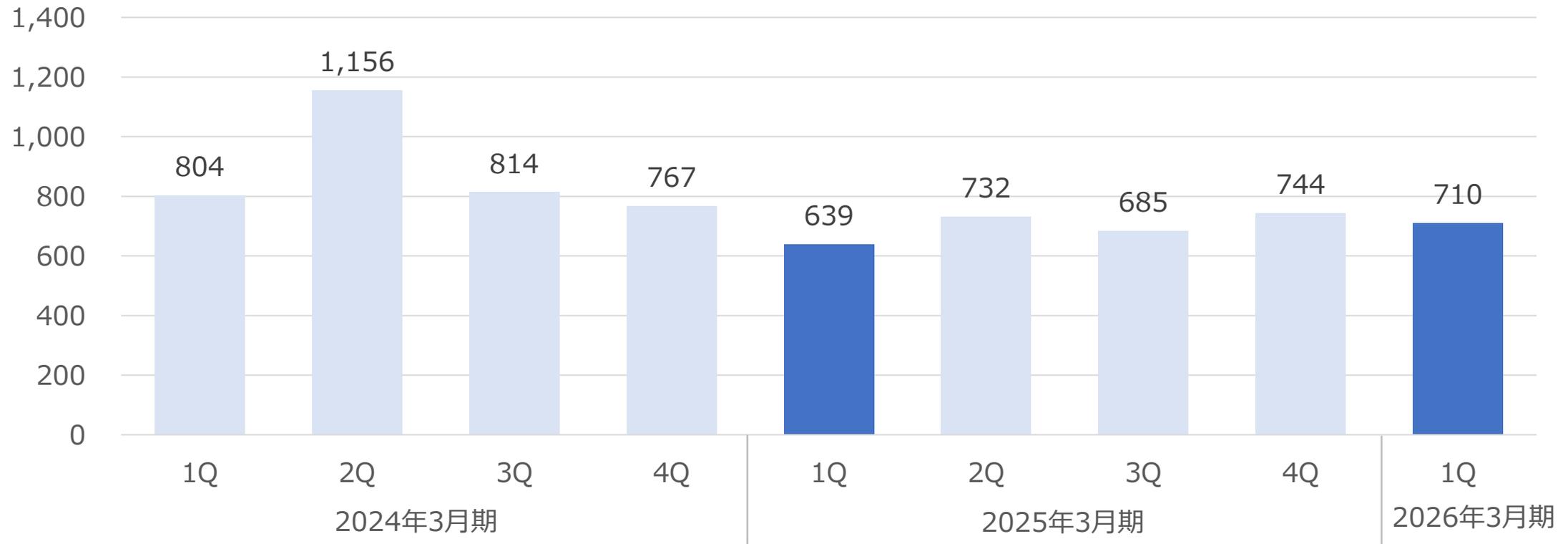


港御（上海）信息技术有限公司

ROM書込みサービス事業での日本サムスン株式会社、株式会社トーメンデバイスと共同で実施する国内大手メーカー向けプロジェクトにて、書込み数量が前年同期比で増加したことにより増収。

四半期売上高

(単位：百万円)



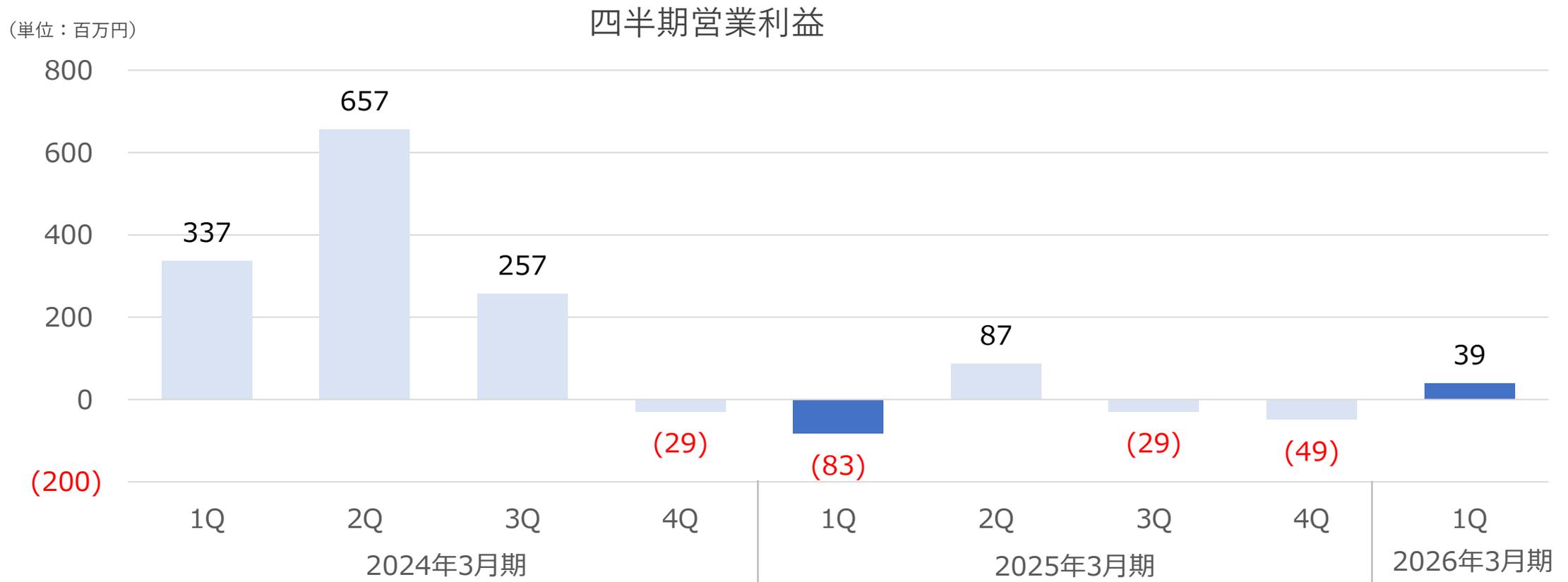
## 【デジタルエンジニアリング】

関連グループ会社： **MINATO**  
ミナト・アドバンスド・テクノロジーズ

**Explorer**

港御（上海）信息技术有限公司

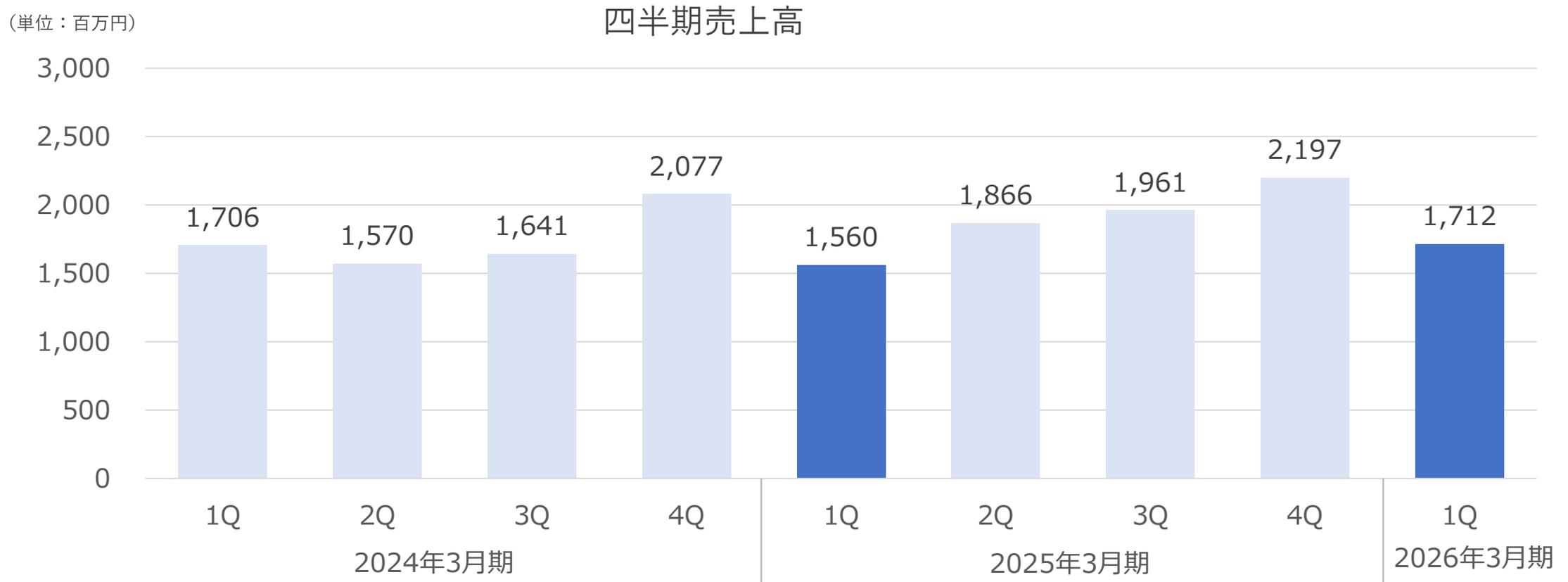
これまで実施した設備投資に伴う減価償却費が減少したことや、東南アジア向けにデバイスプログラマや変換アダプタの受注が増加したことが営業利益の増加に寄与。



## 【ICTプロダクツ】

関連グループ会社： PRINCETON

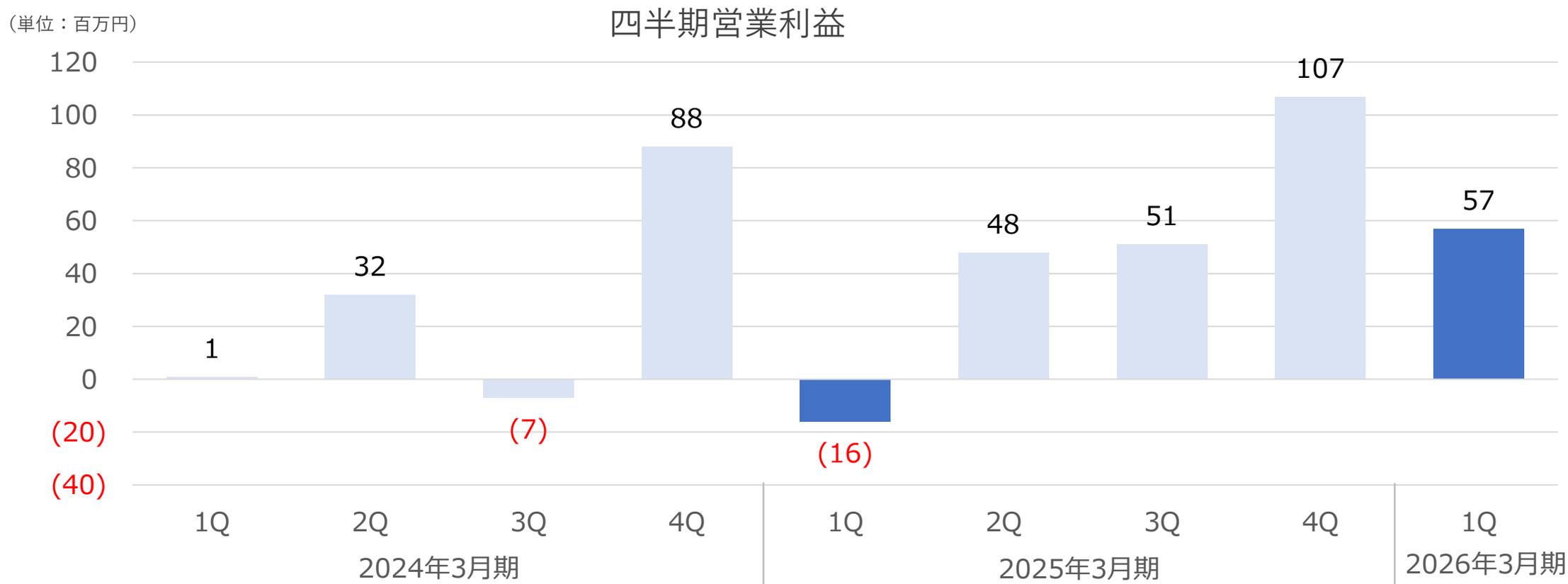
デジタル会議システムが好調だったほか、液晶モニタや周辺機器の販売が堅調に推移し、前年同期比で増収を確保。



## 【ICTプロダクツ】

関連グループ会社： PRINCETON

売上高の増加に加え、各製品の利益率が向上したことから、前期比で大幅な増益。



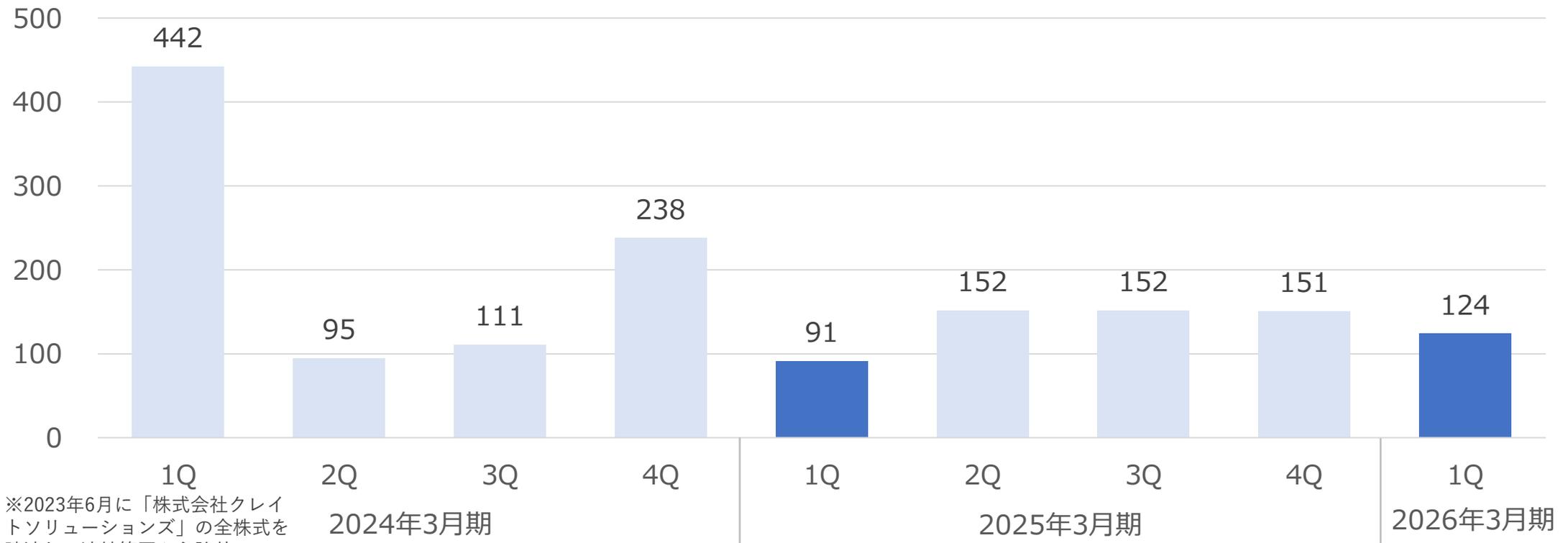
## その他

関連グループ会社： Rivers inc.   

関連する各グループ会社において売上が増加。なお、2025年5月1日付で株式を取得したブレーンとダイキサウンドは、当第2四半期より連結業績に損益を取り込む予定。

(単位：百万円)

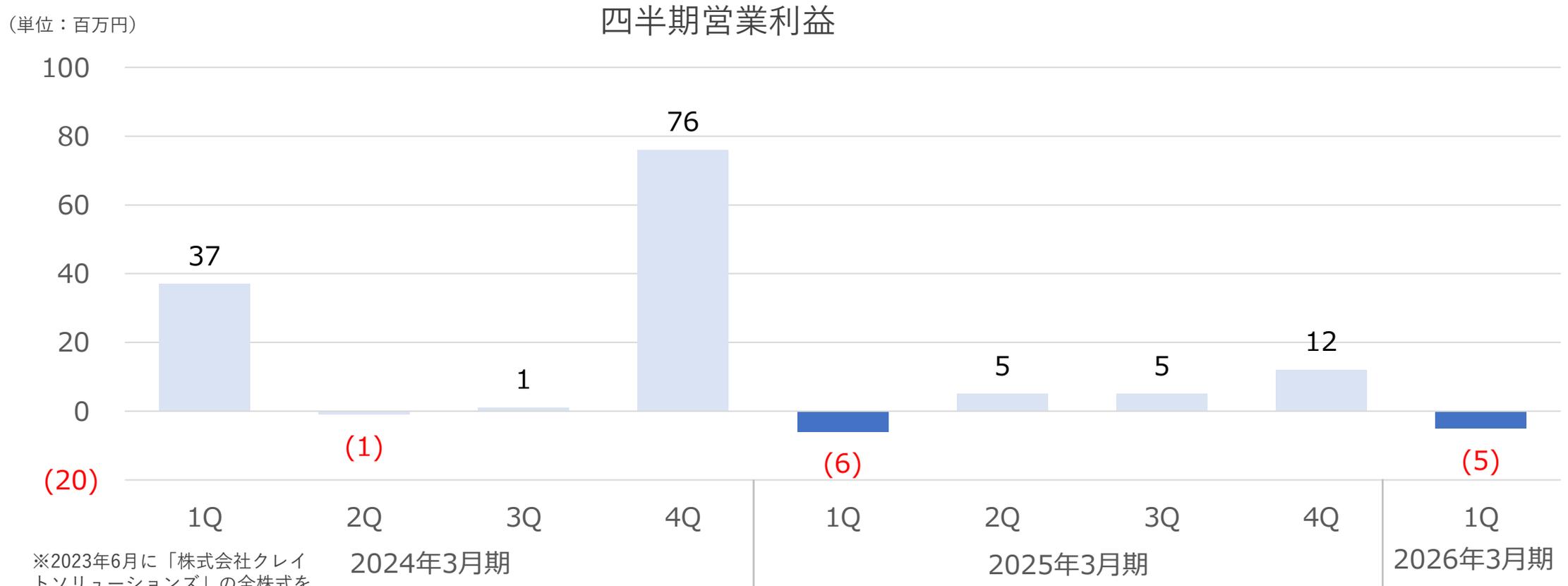
## 四半期売上高



その他

関連グループ会社：  Rivers inc.   

各グループ会社の売上増が進んだものの、当第1四半期においては費用が先行。



# 4. ミナトグループの成長戦略

---

ミナトホールディングスグループは

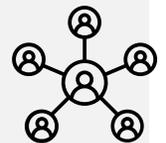
# デジタルコンソーシアム(DC)構想

の実現を目指します

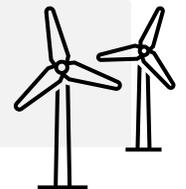
デジタルの分野に特化した技術力を持つ企業との提携、M&Aを実施



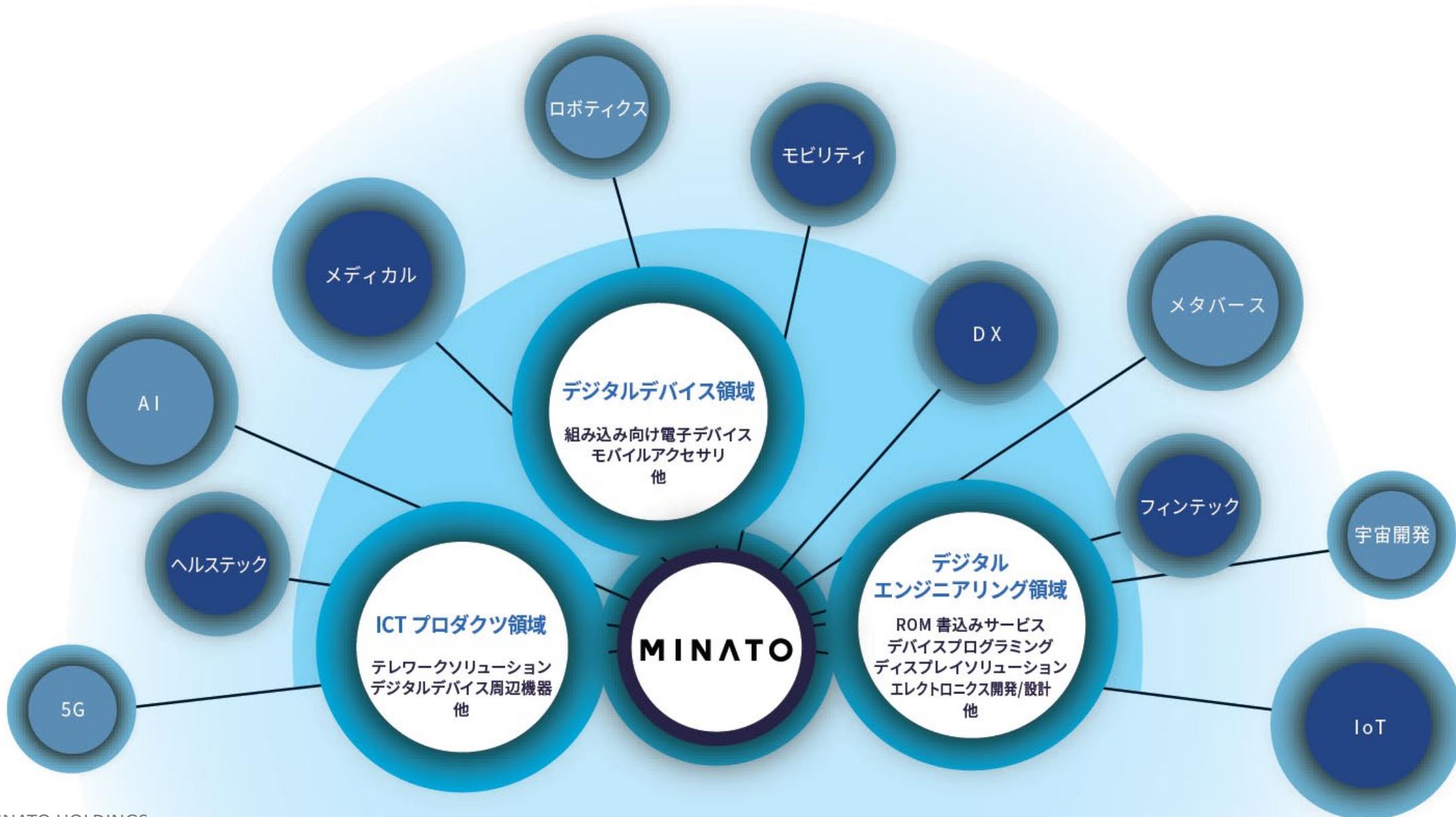
コンソーシアムの強化によるシナジー創出、新しい製品やサービスの開発にも挑戦



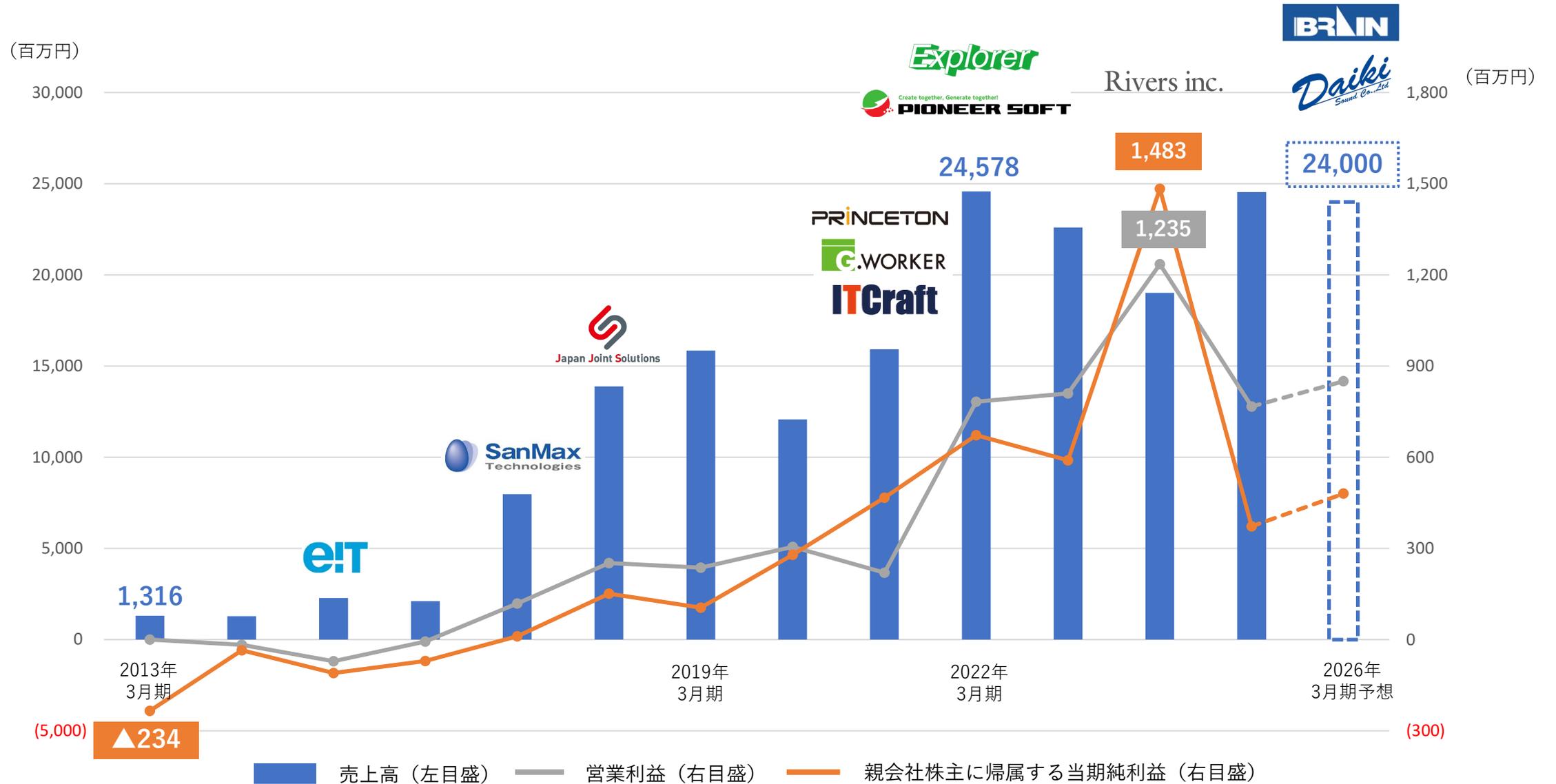
新しい市場を開拓することで人や社会に貢献し、持続可能な未来を創造



## デジタルコンソーシアム構想イメージ図



# DC構想実現に向けたグループの拡大と業績の推移



# 「中期経営計画2027」の達成を目指し、各種取り組みを推進

MINATO



[https://www.minato.co.jp/document\\_files/ir/medium-term\\_business\\_plan/202301/MidTermStrategy2027%E2%80%97final.pdf](https://www.minato.co.jp/document_files/ir/medium-term_business_plan/202301/MidTermStrategy2027%E2%80%97final.pdf)

## 「中期経営計画2027」の概要①

3つの重点テーマに基づき、デジタルコンソーシアム構想の実現を目指す。

① 既存事業領域の更なる拡大  
デジタル技術の進化を取り入れたさらなる事業拡大

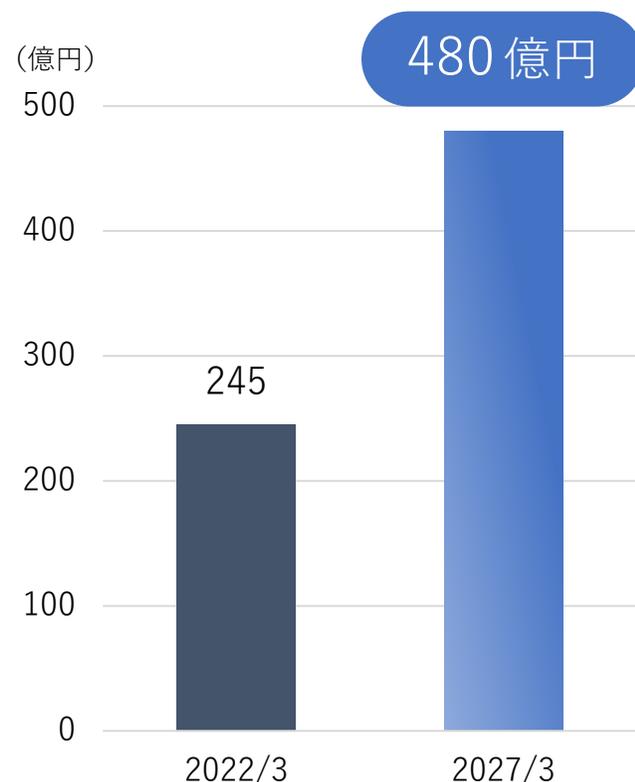
② 新規事業領域への投資（M&A/ベンチャー投資）  
強みの投資力を生かした新事業によるさらなる成長力の獲得

③ グローバル展開  
海外拠点新設によるアジア市場へのビジネス拡大と、米国企業の新技術や  
ビジネスモデルの取り組み

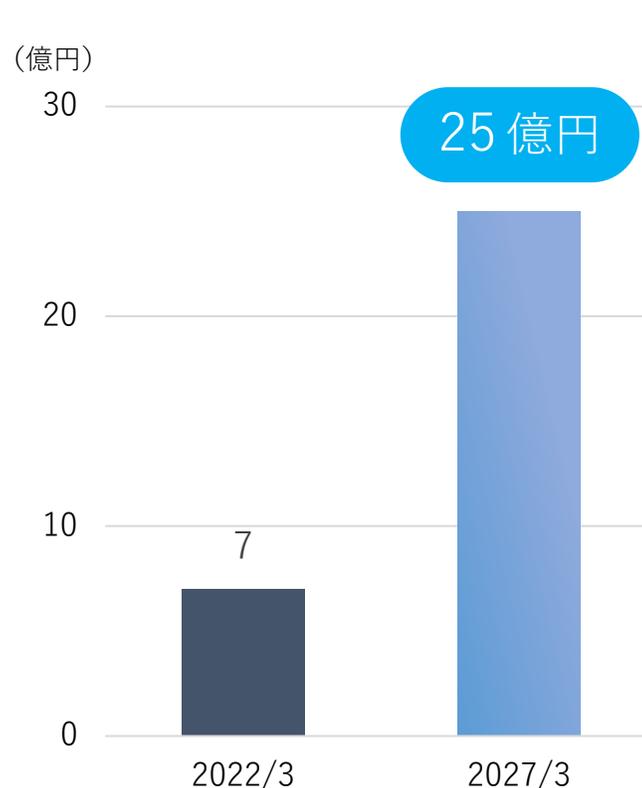
## 「中期経営計画2027」の概要②

既存事業の成長とM&Aによる成長による数値目標の達成に向けて推進中。

### 売上高



### 営業利益



ROE (%)

15%以上

自己資本比率 (%)

30%以上

# サステナビリティ経営について

DC構想実現による未来の社会の創造のための重要課題（マテリアリティ）を特定して取り組みを推進。

## ▶ QOL向上の実現

高品質デジタル商品やデジタル技術を多くの方に届けることで、人々のQOLを向上



## ▶ 地球環境の保全

環境に配慮したオペレーションを実施するとともに、環境負荷を低減するための技術、サービスを提供



## ▶ 人材ダイバーシティを重視した働きやすい環境

多様な人材が活躍でき、一人ひとりが健康に働き続けられる職場



## ▶ 持続的な成長を可能にする経営基盤

持続的な成長を実現し、環境の変化に対応するための経営基盤、コーポレート・ガバナンス体制の強化

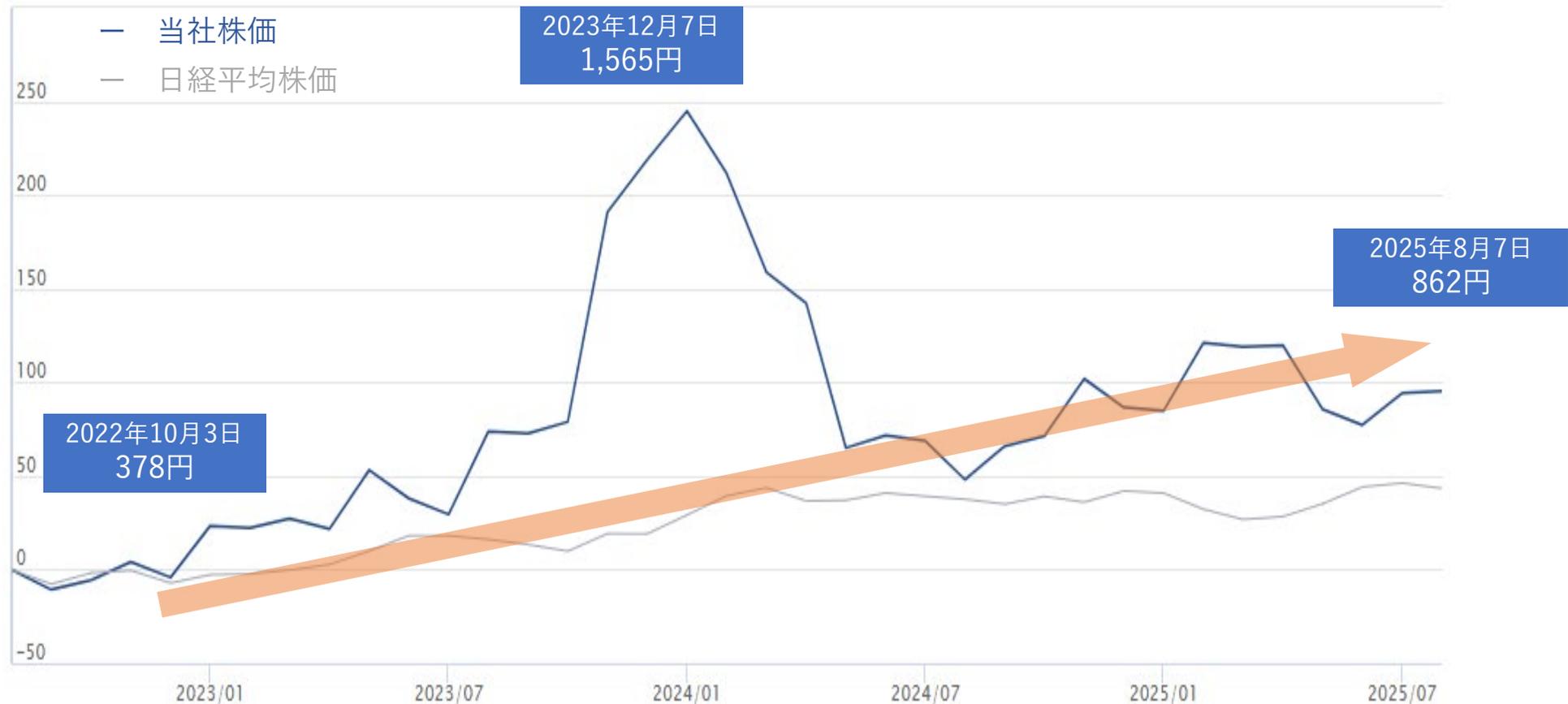


# 5. 株主還元

---

## 株価の推移

当社株価は2022年10月の安値378円から2023年12月には1,565円の高値を付け、現在は2.2倍に上昇（378円→862円）。

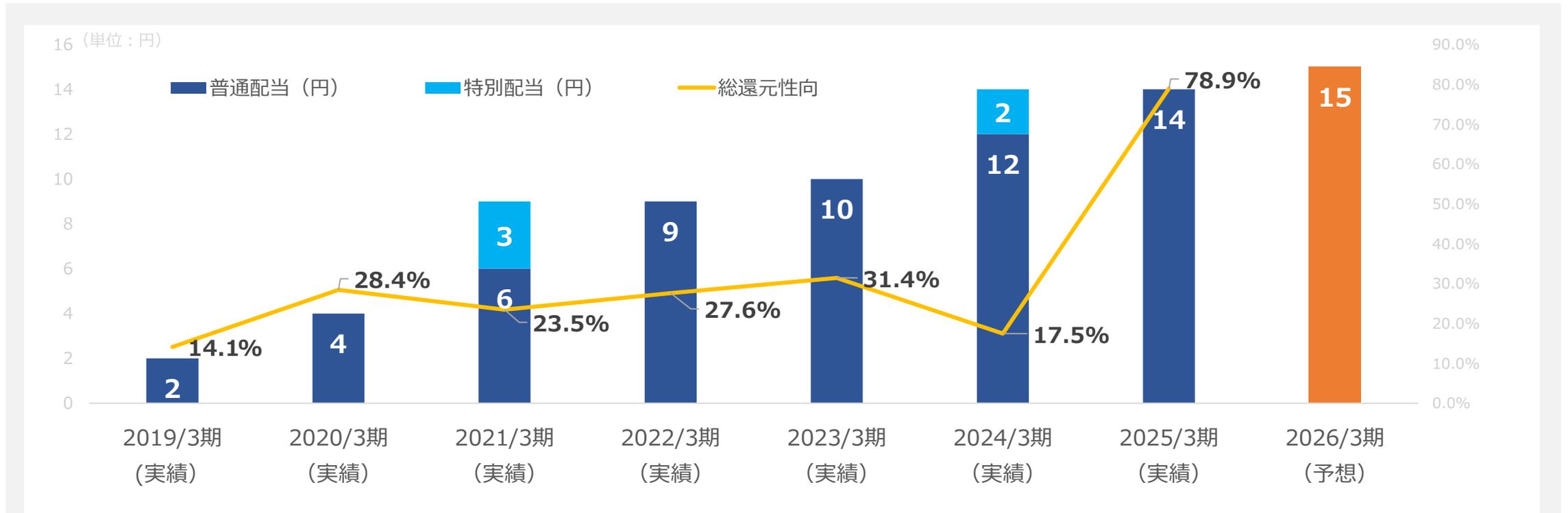


※ 株価グラフは終値の推移、2022年8月1日終値を0とした相对比较  
 ※ 2022年10月3日、2023年12月7日の株価は取引時間中の株価を掲載

## 株主還元の方

株主還元は、配当、自己株式取得、株主優待の3つの柱で構成。現在は配当と自己株式取得を強化しながら、株主優待も継続的に実施中。

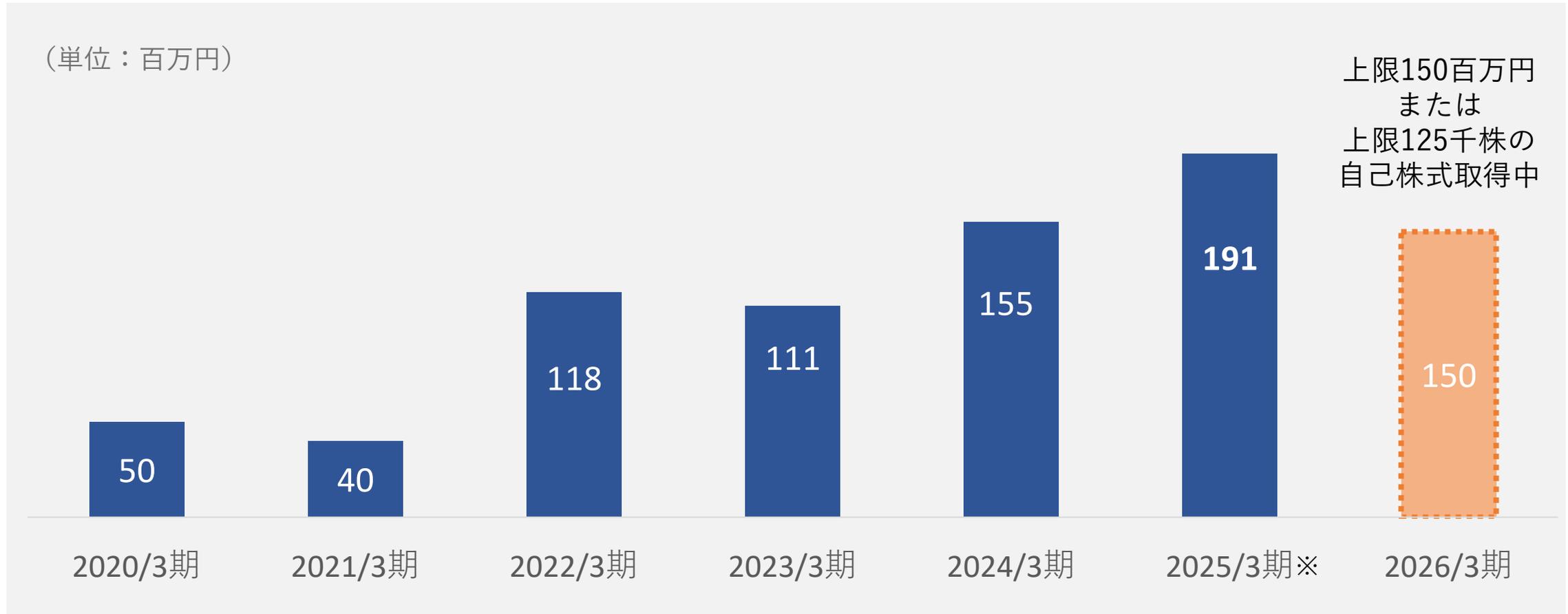
総還元性向は30%以上とする方針。2025年3月期は過去最大規模の自己株式取得を実施したこともあり、総還元性向が大幅に上昇。



※ 2024年3月期は子会社株式売却益があったが成長分野に資金を重点配分して、総還元性向は一時的に30%を下回った。  
 ※ 本グラフの総還元性向は、会社株主に帰属する当期純利益に対する配当と自己株式取得の合計額の比率。

## 自己株式取得の状況

2025年12月30日までの期間で自己株式を取得中。2025年3月期は合計で取得総数237千株、取得価額の総額191百万円となる過去最大規模の自己株式取得を実行。



※ 2025年3月期は2024年2月および同年9月開催の取締役会決議分の合計実績

## 積極的なIR活動を展開

企業価値を適正に評価いただけるよう、株主・投資家の皆さまとのコミュニケーションを重視、積極的な情報開示を実践し、適切な株価水準を目指す。

### 個人投資家向け IR説明会、展示会

- オンライン、オフラインの個人投資家向けIR説明会に積極的に登壇。
- IR展示会への出展等を通じて、個人投資家の皆さまとのコミュニケーションを推進。
- 2025年9月26日、27日には「日経・東証 IRフェア」に出展予定。



### 機関投資家とのミーティング

- 機関投資家との1on1ミーティングを積極的に実施。
- 2023年3月期実績 27件、2024年3月期実績 58件、2025年3月期実績 45件、今後は過去実績を上回る回数のミーティング実施を目指す。



# 6. Appendix 会社概要とグループ会社の事業内容

---

会社名	ミナトホールディングス株式会社 (MINATO HOLDINGS INC.)
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード：6862)
所在地	東京都港区新橋4丁目21番3号 新橋東急ビル
代表者	代表取締役会長 兼 グループCEO 若山 健彦 代表取締役社長 兼 COO 相澤 均
資本金	1,086百万円 (2025年3月31日現在)
設立日	1956年12月17日
事業内容	グループ会社の経営管理
グループ会社	13社：国内11社（うち持分法適用会社2社）、海外2社
グループ役員数	約400名
グループ拠点	国内：東京、横浜、大阪、名古屋、福岡、函館、札幌、山口 海外：上海、香港、台湾



# 経営理念、ビジョン

## 経営理念

常に新しい技術に挑戦し、  
社会に価値ある製品やサービスを提供することで、  
お客様、株主、従業員の満足度を高める企業になる。

## ビジョン

デジタルコンソーシアムで未来の社会を創造する

Pioneering the Future through our Digital Consortium

デジタルコンソーシアム構想とは

1. デジタルの分野に特化した技術力を持つ企業との提携、M&Aを実施
2. コンソーシアムの強化によるシナジー創出、新しい製品やサービスの開発にも挑戦
3. 新しい市場を開拓することで人や社会に貢献し、持続可能な未来を創造

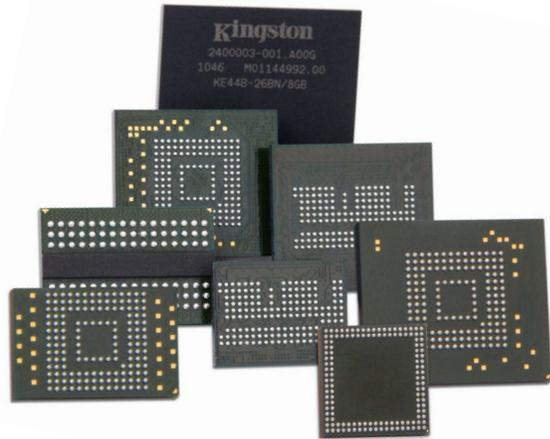




- サンマックス製メモリーモジュールおよび各種メモリー製品は、PC、サーバー、POSレジ、MFP(多機能デジタル複合機)、ATMなど多岐にわたる用途で使用されています。
- 供給安定性と全数検査による品質コントロールに強みを持ち、大手電機メーカーや半導体デバイス商社などのお客様の品質基準と幅広いニーズに対応しています。



DIMM  
(Dual Inline Memory Module)



e•MMC™ / eMCP  
(Kingston製品)



Flash Media

## MINATO

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ

- 記憶装置にデータを書き込むデバイスプログラマや、自動プログラミングシステムの開発に加え、プログラムの書き込みサービス（ROM書き込みサービス）を展開しています。
- 新本社社屋が2024年11月に竣工。追加設備投資を実施し、ROM書き込みサービスの書き込み能力を従来の約3.6倍に増強しました。



デバイスプログラマ



自動プログラミングシステム  
(オートハンドラ)



ROM書き込みサービス



新本社社屋

## MINATO

ミナト・アドバンスド・テクノロジーズ

- 自動販売機やATM、屋外サイネージなどで使用され35年以上の実績を誇るタッチパネルから最先端の超薄型デジタルサイネージまで、幅広く取り扱っています。
- コンテンツ制作を含めた総合的なソリューションの提案が強みです。



タッチパネル



デジタルサイネージ  
(WiCanvas)



## PRINCETON

- 液晶モニター、メモリ、eスポーツ関連製品、PCやスマホなどのデジタルデバイス周辺機器、モバイルアクセサリ等を販売し、自社ECサイト「プリンストンダイレクト」を運営しています。
- ビデオ・音声会議システムおよび関連機器のブランドを網羅し、オーダーメイドのように組み合わせ、最適なソリューションを提案します。



PC / スマホ /  
タブレット周辺機器



ゲーミング関連製品  
(ULTRA PLUS / HyperX)



ビデオ・音声会議システム周辺機器  
(Poly / Cisco / Yealink)



Rivers inc.

- ユーザーの要望に沿ったシステム開発、サイト設計・デザイン、コンテンツ戦略の提案・伴走支援などのサービスをワンストップで提供します。
- Webサイト制作・Webプロモーション、グラフィックデザイン・動画制作なども手掛けています。



Web制作



グラフィックデザイン



タッチパネルコンテンツ



動画制作



業務システム



Webアプリ



イベント企画・制作



コンテンツマーケティング

## Explorer

- ソフトウェアおよびハードウェアの仕様検討、設計等から筐体を含めた量産製造まで一貫した開発サービスを提供します。
- 産業機器／医療機器／通信機器／宇宙・防衛など、幅広い分野でODM／EMSサービスを提供しています。コーデック製品やSDI検査製品のほか、半導体製品（開発キット）なども販売しています。



SRTプロトコル搭載  
H.265/HEVC 4K/2Kコーデックシステム



4K/8K HDR対応小型信号発生器



- 有望な技術を持つデジタル関連事業を手掛ける企業、成長が見込まれるベンチャー企業などに投資。日米のVCファンドへの投資も行います。
- 太陽光発電所プロジェクトへの投資、不動産投資、デジタルを活用したホテル型宿泊施設への投資等、グループの知見・ネットワークを活かした様々な資産への投資を実施中です。



太陽光発電所



ホテル型施設への投資



ベンチャー投資



- 商品やサービスのプロモーション動画・ビデオ制作や、映像編集、音響、CGやコピー、データ変換等あらゆるニーズに対応するクリエイティブスタジオを運営しています。
- 著名アーティストが多数出演するミュージックレストラン「ラドンナ原宿」を運営しています。



スタジオ



編集室



ラドンナ原宿



- アーティストやレーベルの「パートナー」として、音楽を広めるためのデジタルプロモーションやイベント企画等を行い、音楽業界におけるトータルコンテンツサービスを提供します。
- スマホやPCからいつでもアーティストのデジタルコンテンツを楽しめる自社サービス「エムカード」の提案、グッズ制作等の商品化計画や商品政策も積極的に提案します。



イベントの企画・運営



屋外広告を活用したプロモーション



自社サービス【エムカード】

## 免責事項

- 本資料は、ミナトホールディングス株式会社並びにその子会社及び関連会社（以下合わせて「当社」又は「当社グループ」）に関する情報を提供するものであり、いかなる投資勧誘を構成するものではなく、またいかなる投資勧誘とみなされるものでもありません。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に公正妥当と認められている会計原則に従って表示されています。
- 過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社の将来の実績の予測又は予想を示すものではなく、またその推定を示すものでもありません。
- 本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた当社グループの現在の前提及び見解に基づくものであり、将来の業績の保証を意味するものではありません。また当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。

# デジタルコンソーシアムで未来の社会を創造する

## ミナトホールディングス株式会社

東証スタンダード市場：6862

<https://www.minato.co.jp/>

IRに関するお問い合わせ・各種取材のお申込みは、  
コーポレート・コミュニケーショングループまで  
お願いいたします。

TEL:03-5733-1710

MAIL:mnt\_ir@minato.co.jp